



会場の外では「大石田うどん  
まいもの展」が開催されました。  
漬け物や自然薯、つや姫の新米  
の試食コーナーなど町のおい  
しい特産品のほか、北村山地域  
の産直施設のブースが並びま  
した。

このほか、元祖花笠踊りや民  
謡コンサートなど、多彩な催し  
も行われてそばの順番を待つ  
来場者などで賑わいました。

## 「うどんまいもの展」も盛況



# 第23回 新そばまつり

香り高い新そばを味わう

大石田新そばまつりが10月26日・27日の2日間にわたりクロスカルチャープラザ桂桜会館の多目的コートで開催されました。

実り豊かな秋を迎え、「ひきたて」「こちたて」「ゆでたて」の3たてに「たてたて」が加わる、そば好きにはたまらない新そばの季節。今年も香り高い新そばを求めて訪れた多くの方で、大賑わいのイベントとなりました。

**極上の新そばを提供**

今年で23回目となる大石田町新そばまつりは前売チケットが前日までに完売し、2日間の来場者は2千人を超えて約5千食のそばが提供されました。まつりで提供されたそばは、130年以上大石田町で守り継がれてきた固有品種「来迎寺在来」。香り高い打ちたてのそばを提供するため、大石田そば街道振興会や大石田そば道楽会の会員など約30人が早朝からそば打ちを始め、打ちたて、ゆでたての極上の新そばを提供したほか、会場の実演コーナーでもそば打ちの腕前を披露し、訪れた方は足を止めて見入っていました。

まつりには宮城県など遠方からもたくさんのお客さんが訪れ新そばを味わいました。中には何度もそばのおかわりをする方もいて、今しか味わえない旬の味を存分に楽しんでいました。

## ふるさと納税寄付者対象 大石田まるごと味わうバスツアー開催



新そばまつりに合わせて、大石田町にふるさと納税をされた仙台市在住者を対象にしたバスツアーが26日(土)に開催されました。

ふるさと納税で寄付を行った方に実際に町を訪れてもらい、リピーターを増やそうという取り組みで、参加者約70人が歴史民俗資料館や新そばまつり会場、あつたまりランド深堀などをバスで巡り、新そばや温泉など大石田町の秋を満喫しました。

## 大石田町のそばのキャラクター 新そばまつり会場でネーミングを募集



新そばまつり会場に、誕生以来名前がついていない「そばのキャラクター」のネーミング案への投票箱が設けられました。

ネーミング募集のきっかけは、昨年開催された東北芸術工科大学主催「みちのおくの芸術祭やまがたピエンナーレ2018」で行われた企画。名前がついていないキャラクターがいることを知った学生が「名づけ屋」という企画で集めた66の候補に、今回の新そばまつり来場者に投票してもらいました。気になる集計結果は…大石田町そばの里推進協議会総会を経て、来年度発表します。お楽しみに。

